

## ●カリキュラム概要

### 1. 豊かな感性と倫理観を持つ看護専門職者となるために

文学や美術、体育等の科目を通して感性を磨き、倫理学・生命倫理では、個人や社会の問題解決に活用する倫理的判断の基礎や、臨床場面の倫理的諸問題に直面する看護師の責任と役割について学習します。看護専門職者として柔軟かつ論理的な思考力を備えるために、統計学や自然科学を学び、英語を中心とした語学では、看護において必要となる外国語の表現力の向上をめざします。

### 2. 創造性豊かな看護専門職者となるために

人々の心理や行動、生活習慣等を多角的に理解し、人々を取り巻く社会のあり方や法制度、医療経済、保健医療福祉行政等に関する基本的な知識を身につけます。また、人々の健康について理解するために、人体の構造と機能、病態の診断と治療等について学習します。看護の基本となる科目では、看護学の基本やコミュニケーション技術など看護専門職者としての基本的態度や姿勢を身につけるとともに、家族や地域の理解を通して、対象理解を深めます。また、疫学や医療統計学、看護実践を支える看護技術とアセスメントの学習は、根拠に基づいた看護実践の基礎をつくるものであり、より実践的な理解を促すために実習を実施します。

### 3. ニーズに対応する実践能力を備えた看護専門職者となるために

看護実践の基盤として、人々の成長発達に合わせた健康の維持・増進、急性期・慢性期・終末期の病期に沿った疾患と看護について学習し、看護実践の応用として、母性看護学、家族看護論、健康障害をもつ子ども・高齢者への看護、精神の健康障害をもつ人の看護、地域看護学、在宅療養を支える看護について、より専門的に学習します。これらの学習をふまえ、看護実践として実習を実施します。さらに、看護を統合する科目では、チーム医療におけるマネジメントやリーダーシップ、災害看護学、国際看護学、看護研究方法論について学習し、地域の保健医療福祉に貢献する看護専門職者として育成します。

## ●評価方法

履修した授業科目の成績は、「福島県立医科大学看護学部履修規程」に基づき、筆記試験、レポートおよび出席等の方法により総合的に評価します。

●助産師の養成（選択制）

さらに、助産師を育成するため、助産師国家試験受験資格（選択制）を取得するための科目を設けています。

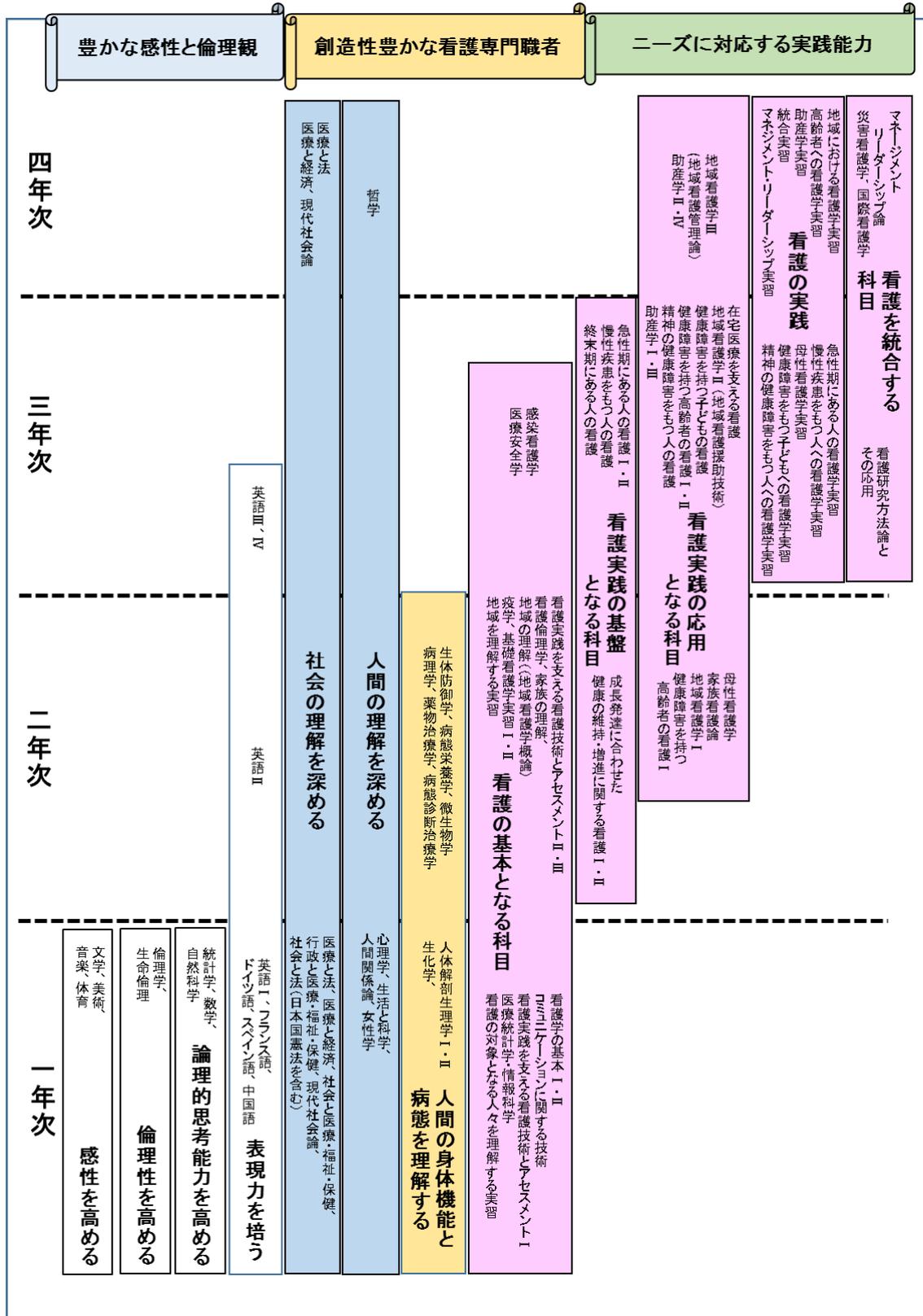


図 看護学部コース・ツリー